

京都大学附属図書館 情報サービス課

Library Service News

●記事についてのお問い合わせは●

Tel 加ッタ-
 参考調査掛 (753-2636) 7
 資料運用掛 (753-2632) 2~4
 雑誌・特殊資料掛 (753-2640)
 相互利用掛 (753-2638) 6



- 開館日程表
- 本の返却について
- 共同研究室の利用について
- 京大OPACの画面が変わります
- PCI(Periodicals Contents Index)がWeb版に
- Chemical Abstracts のインターネット版「SciFinder Scholar」いよいよサービス開始!!
- 紹介状の申し込みについて
- <シリーズ>特殊文庫あれこれ ―各論編―

▼ 開館日程表

1月	開館時間	2月	開館時間	3月	開館時間
1(火)	年末年始休館	1(金)	9:00~21:00	1(金)	9:00~21:00
2(水)	〃	2(土)	10:00~17:00	2(土)	10:00~17:00
3(木)	〃	3(日)	〃	3(日)	〃
4(金)	休館日(図書整理等のため)	4(月)	9:00~21:00	4(月)	9:00~21:00
5(土)	〃	5(火)	〃	5(火)	〃
6(日)	休館日	6(水)	〃	6(水)	〃
7(月)	9:00~17:00	7(木)	〃	7(木)	〃
8(火)	9:00~21:00	8(金)	〃	8(金)	〃
9(水)	〃	9(土)	10:00~17:00	9(土)	10:00~17:00
10(木)	〃	10(日)	〃	10(日)	〃
11(金)	〃	11(月)	休館(建国記念の日)	11(月)	9:00~21:00
12(土)	10:00~17:00	12(火)	9:00~21:00	12(火)	〃
13(日)	〃	13(水)	〃	13(水)	〃
14(月)	休館日(成人の日)	14(木)	〃	14(木)	〃
15(火)	9:00~21:00	15(金)	〃	15(金)	〃
16(水)	〃	16(土)	10:00~17:00	16(土)	10:00~17:00
17(木)	〃	17(日)	〃	17(日)	〃
18(金)	〃	18(月)	9:00~21:00	18(月)	9:00~21:00
19(土)	10:00~17:00	19(火)	〃	19(火)	〃
20(日)	〃	20(水)	〃	20(水)	〃
21(月)	9:00~21:00	21(木)	〃	21(木)	休館(春分の日)
22(火)	〃	22(金)	〃	22(金)	9:00~21:00
23(水)	〃	23(土)	10:00~17:00	23(土)	10:00~17:00
24(木)	〃	24(日)	〃	24(日)	〃
25(金)	〃	25(月)	9:00~21:00	25(月)	9:00~21:00
26(土)	10:00~17:00	26(火)	〃	26(火)	〃
27(日)	〃	27(水)	〃	27(水)	〃
28(月)	9:00~21:00	28(木)	月末休館日	28(木)	〃
29(火)	〃			29(金)	臨時休館(予定)
30(水)	〃			30(土)	10:00~17:00
31(木)	月末休館日			31(日)	〃

●学外者の受付は、平日の9時~17時です。事前に照会のうえ、必ず身分証明書をお持ちください。
 (土・日曜日および平日17時以降は受け付けません。)
 学外者の利用ガイドを発行しましたので、ご利用ください。

お問い合わせ先: 資料運用掛(753-2632/2633)

❖ 本の返却について

1月15日は冬休み前に借りられた本の返却日です。

対象となるのは、

12月10日～12月23日に借りられた全ての＜開架図書＞

11月24日～12月14日に院生・教職員の方が借りられた＜庫内図書＞

12月10日～12月23日に学部生の方が借りられた ＜庫内図書＞

です。期限を忘れずに返却してくださいね。

なお、これらの長期貸出図書は期限内であっても、貸出の延長はできません。

ご了承ください。

資料運用掛



❖ 共同研究室の利用について

現在、共同研究室(1)を開放していますが、試験期間中の1月22日(火)～2月18日(月)の間は、共同研究室(2)も閲覧室として開放します。

利用時間は月曜から金曜の9:00～16:45です。

共同研究室にグループスタディ等の予約が入った場合は、そちらが優先されます。

なお、1月よりグループスタディ等で共同研究室を利用される場合、大学院生の方でも代表者として申し込みができるようになりました(これまでは教官のみ)。

利用を希望される方は、月曜から金曜の9:00～17:00にカウンターまで申し出てください(利用当日の申し込みは受け付けません)。

資料運用掛



❖ 京大OPACの画面が変わります

みなさんおなじみの京都大学蔵書検索(京大OPAC)の画面が、1月中にリニューアルします。

決定次第、附属図書館ホームページ等でご案内しますので、どうぞご期待ください！

参考調査掛

❖ PCI(Periodicals Contents Index)がWeb版に！

今までネットワークCD-ROMで提供していたPeriodicals Contents Index(略称PCI。欧米の総合雑誌を中心に、人文・社会科学系の学術雑誌3,781誌の目次情報を検索できます。年代は1770年以降1990年代まで)が、Web版で利用できるようになりました。CD-ROM版に比べて、年代の横断検索が可能など、あらゆる点で使いやすくなっています。ぜひご利用ください。

電子図書館から、学内向けサービスの「データベース」をクリックしてください。

<http://pci.chadwyck.co.uk/all/search>

参考調査掛



❖ Chemical Abstracts のインターネット版「SciFinder Scholar」いよいよサービス開始！！

Chemical Abstracts のインターネット版として2001年6月のトライアルより導入が検討されていた「SciFinder Scholar」ですが、いよいよ2002年1月からサービスを開始することになりました。今までのCA on CDよりも数段使いやすく、さらに便利な機能もたくさん付加されています。研究におおいにご活用ください。

利用には、専用検索ソフトのインストールが必要です。正式なサービス開始日および検索ソフトのインストール方法等は、わかり次第下記のURLでお知らせします。

<http://ddb.libnet.kulib.kyoto-u.ac.jp/lusr/gakunaidb.html>

※なお、現行のCA on CDはSciFinder Scholarの運用が安定した段階でサービスを中止する予定です。

参考調査掛



❖ 紹介状の申し込みについて

他大学の図書館を訪問利用する際には、紹介状が必要です。附属図書館では、希望資料について先方の大学へ問い合わせ、利用可能の場合、紹介状を発行しています。そのため、通常は即日発行できません。早めに申し込んでください。

紹介状を受け取ったら、申し込み時に記入した期間内に利用してください。資料問い合わせの際に閲覧希望日を指定してありますので、もしやむを得ない事情でその期間内に利用できないときは必ず相互利用掛に連絡してください。また、同じ資料を複数の大学に申し込むことはご遠慮ください。

訪問利用の際は、相手館の利用規則に従い、相手館に迷惑をかけないようにご注意ください。なお、紹介状とともに必ず身分証を携帯してください。

申し込み、お問い合わせは6番カウンターでどうぞ。

相互利用掛

！ <シリーズ>特殊文庫あれこれ ―各論編―

(3) 清家文庫 その1

清家文庫は、1951(昭和26)年から1953(同28)年の3年間にわたり船橋清賢氏から寄贈を受けた慶長・元和木活字版『孟子抄』、『毛詩抄』など2,365冊と、その後附属図書館が同家から購入した「清家家学書34種」(すべて重要文化財に指定)を中心とした289冊、および1907(明治40)年3月から1916(大正5)年にかけて購入された『尚書』をはじめとする172冊(これらは2000(平成12)年12月に一般貴重書から清家文庫に切り替えられた)を加えたものからなっている。

文庫は、清原家祖先より伝来された清原家の文書、記録、進講本などの貴重な文献の集大成で、経書を中心に国史、国文に関する資料も含まれており、ことに文書、記録の類は有職故実の研究の有力な資料でもある。清家本と呼ばれるコレクションは本館以外に、国立国会図書館、東洋文庫、大東急記念文庫、宮内庁書陵部、筑波大学附属図書館などに所蔵されているが、本館所蔵清家文庫は清家本コレクションとしては質量ともに最大級のものであるといえることができる。

はじめに「清原家家学書34種」のいくつかについて紹介しておく、これらはまず何よりも、南北朝より室町にいたる原本類の集大成で、清家一門の講説あるいは書入れ等清家学の本質と伝統をうかがい知ることが出来る貴重な原史料であるということである。

宣賢自筆の『易学啓蒙通釈』、『易学啓蒙抄』、『命期秘伝』、『左伝聴塵』、『年中行事』、『塵介』、宣賢自筆でかつ宣賢が『尚書』を、主として古注により、新注を参勘して抄したとされる『尚書聴塵』、1514(永正11)年10月書写ならびに大永、天文年間講義の奥書が見られる宣賢自筆の『大学』、清家累代の家訓として伝えられ1356(延文元)年10月教氏伝授の奥書のある『古文孝経』等宣賢の進講本をはじめ、良雄(業賢)自筆の「明応6年6月 日蔵人宣賢贈之」の記述が見られる『孝経述義』、業賢および一部国賢筆の『考経抄』国賢等自筆の『三略抄』、良枝自筆で、1550(天文19)年4月付け枝賢による奥書が見られる『論語』等がある。

『中庸』は長慶天皇の1382(弘和2)年禅恵によって大和国宇智郡栄山寺行宮で書写された稀覯書で、本書が朱子注であることと、弘和2年の奥書のあることから、後醍醐天皇以来の宋学の伝統と影響を知ることができる。

また、本書が栄山寺行宮に関する重要な史料であるということにも注目される。この『中庸』をはじめ『周礼正義』『孝経述義』の3点は旧国宝に指定されていたものである。

翻って、この収書はわが国儒学発達史の研究に貴重な資料を提供するばかりでなく、経書の韻学訓古の学習においても見逃すことのできない資料であるといえることができる。

雑誌・特殊資料

